

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第32号 発行日2005年9月28日

Contents

北海道に支部、講演会	1
福岡でフォーラム、渡辺氏ら講演	2
九州講演続き	3
霞が関情報、大阪観光大学	4
観光人国記一末吉市長	5
立教支部便り、中田横浜市長	6
TX試乗記、映画「深紅」	7
テニスを楽しむ、イタリア映画	8
第一交通全国へ、コラム	9
美味しい話、道の駅	10
宇宙旅行、インドネシア紀行	11
ナマエの話、会員名簿	12



門司港駅、鹿児島本線の終着駅。1914年（大正3年）、イタリアのテルミニ駅を参考に作られたネオルネッサンス風の木造2階建て“現役の駅”。国指定の重要文化財。ライトアップされた夜の駅も美しい

巻頭言

11月、北海道支部設立と講演会開催へ 「大九州圏観光フォーラム2005」が、9月福岡で実施さる

札幌で「21世紀は大北海道圏の時代」シンポ 4人の講師が将来を展望、提言へ

JAPAN NOW観光情報協会（松尾道彦・理事長）は、7番目の支部（北海道支部）を札幌市に開設して全国展開を進めることになり、11月8日午後3時から札幌市の「ホテル・ライフォート札幌」で、約200名が出席して北海道支部設立総会及び記念講演会「21世紀は大北海道圏の時代」（観光立国フォーラムin札幌）を開く。

「北海道観光連盟」（会長：我孫子健一・元北海道副知事）との共催で開催し、支部長にはJR北海道会長の坂本真一氏の就任を提案する。来賓として北海道知事の高橋はるみ氏、札幌市長の上田文雄氏らを予定。当日は内外経済の論客として知られる電通顧問の福川伸次氏（元通産事務次官）、照明デザイナーの石井幹子氏（写真）や国土交通省の柴田耕介・総合観光政策審議官、鉄道運輸機構の菊池一成・北海道新幹線建設局長による講演会や懇親会が行われる。



北海道の官民が35年前から誘致に取り組んできたフル規格の北海道新幹線・新青森～札幌間360キロのうち新青森～新函館間148キロの工事が、去る5月に着手され、10年後に開業すると東京～新函館間は3時間40分で直結し、その経済波及効果は4901億円が見込まれる。また、7月14日には知床半島がユネスコの世界自然遺産に登録され、北海道の経済再生や

観光振興に大きな効果が期待されている。当協会は、こうした北海道の新しい動きに注目し、支部を新設することにした。

松山善三監督がJN協会名誉顧問に 北海道支部設立総会に出席へ



映画監督の松山善三氏は、JAPAN NOW観光情報協会の名誉顧問に、9月就任した。

同氏は1925年生まれ兵庫県出身で1948年松竹大船撮影所に入り、61年『名もなく貧しく美しく』

（東京映画）で監督デビュー、次々とヒューマニズム溢れる作品を発表し、高い評価を受けた。

11月8日の北海道支部設立記念講演会では、北海道観光の発展策と観光立国について見解を述べる予定。

なお、松山監督がメガホンを取った映画『新しい風』は、約100年前に十勝野に新天地を求め開拓に挑んだ依田勉三の青春を活写した作品で、12月25日から全国公開される。

大九州圏観光フォーラム2005
9月21日、福岡市の西鉄グランドホテルで開催。この模様および講演要旨は、2、3ページで紹介しています。

「大九州圏観光フォーラム2005」開く

NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」は9月21日、九州観光推進機構と共催で『大九州圏観光フォーラム2005』を、福岡市の西鉄グランドホテルに約200人が集まり開催。来賓に麻生・福岡県知事、与田・国土交通省九州運輸局長を迎え、まず主催者の松尾・JN協会理事長が「九州は、東アジア地域経済推進会議を開くなど、アジアとの交流が進む素地がある。平和の基となる観光を進めることを期待し、お手伝いしたい」と開会の挨拶。続いて、長尾・JN協会九州支部長、田中・九州観光推進機構会長がこもごも観光にかける決意を披瀝した。（麻生知事の挨拶要旨は次ページ。2、3ページ＝文責・加納）



午後2時に始まったフォーラムは、来賓挨拶、渡辺修・日本貿易振興機構理事長等の講演と続き、午後5時過ぎから懇親会に移った。議会の関係で遅れて駆けつけた山崎・福岡市長が「県は県域にとらわれ動きにくいところがあるが、都市は広域で連携し動けるので、アジア都市観光振興機構を設立し、相互観光を目指している」と挨拶、渡辺理事長、末吉・北九州市長らを囲む懇談の輪が広がり、午後7時すぎ散会した。このフォーラムの様子は、22日付の西日本新聞で4段記事で紹介された。

東アジアの経済統合進む

「日本の九州からアジアの九州へ」

ジェトロ理事長・渡辺修氏



渡辺修氏

『東アジアの経済統合と今後の日本経済～九州経済の活性化と観光～』と題して、渡辺修・日本貿易振興機構（ジェトロ）理事長は、次のように語った。渡辺氏は元通産（現経済産業省）事務次官である。

東アジアとの関係深まる日本

東アジアの経済の動きは急速。日本との関係も一段と深まっている。対日投資は、「日本経済の閉鎖性を示す」と批判された1990年代初めに比べ、隔世の感がある。当時、対外10対日1だった投資バランスが、2004年度には対外355億ドル、対日375億ドルと、逆転した。対日投資の約7割は、金融関係の不良資産処理がらみだが、新しい前向き投資とくに研究開発投資が次第に増えている。進出してくる企業は、日本で研究開発し、東アジアで生産するスタイルを考えているようだ。

この背景には、日本経済が不況を抜け出し、彼等が「Japan is back」と捉えているからだ。外資は中国投資にも走ったが、日本社会の安定性、法律の整備など、特に先端技術部門への投資環境が整っている、と見ている。日本経済は、2002年1月をボトムに息の長い成長が続く見通しにあることも、外国企業の進出を促している。

これからのことだが、私は東アジアの経済統合が進む中で、日本の将来を楽観的に見ている。3～4年前には“中国脅威論”があったが、今は空気が変わった。「中国・アジアの発展は、またとないビジネスチャンス」と言うように。東アジアに進出した企業の70%が黒字であり、さらなる拡大を目指している。ASEANへの日本からの投資は、中国へのその3倍を倍にも上っている。中国、日本、ASEANの3圏で最適地生産を目指す、工程間分業など新しいビジネ

スモデルが出来上がり、東アジアの経済統合が進みつつあるのだ。1985年から最近間まで、世界の貿易高4倍に増えたが、東アジア内では7.8倍。NAFTA（米州）やEUよりは、東アジア内での経済統合の進みの方が、早い。2015年にかけて、東アジアは大きな自由貿易地域になっていくだろう。

人口減は心配ないー工程間分業で対応できる

日本の人口は、これから減っていく。「人口が減る国が、経済成長した例は歴史上ない」という人がいるが、日本はその通説を覆す大きな実験場だ。米国の友人からも指摘されたが、私は「心配ない。東アジアには若い優秀な労働力がある。日本が、そこへ出て行く。そして地域全体が成長する。日本は、その果実を頂いて成長する」と答えている。これからを占う上で、大きなポイントは日中関係。歴史上、両国が共存・共栄した例は無いが、ASEANをはさんで、中国と日米のシーソーゲームが続く中で、共存の道を探らなければならない。中国はエネルギー消費大国で、一定の成長に必要な一人当たりの消費量は日本の8倍。日本の省エネ技術で中国を助けることが、世界の安定にもつながる。貧富の差が100倍にも達する中国は大きな国内問題を抱える。ここにも日米からの技術支援が生きる。東アジア地域は、同じ舟に乗ったも同然、工程間分業を進め、地域全体で競争力をつけ、成長を目指す。

九州はアジアの中心として観光にも有利

九州は、東アジアに最も近い。「日本の九州」から「東アジアの九州」へ、交流を深めながらともに成長を目指すところに、ビジネスチャンスが生まれる。2008年のオリンピック、そして万博に取り組む中国は、ちょうど日本の1960年代に似ている。

高度成長期に入る中国からの観光客は、大きく増えるだろう。それを九州に呼び込む、なかでも若い人たちとの交流に力を注ぎ、嫌日、排日感情を無くしていくことが大切。九州は、その環境、立地条件に恵まれている。

麻生・福岡県知事の挨拶要旨



麻生福岡県知事

国の方針が「均衡ある発展」から「特色ある発展」に変わり、九州は変革期に入っている。これまで公共事業のウエイトが高い九州だが、これからは新しい産業を興し発展を目指さねばならない。このため設けた『九州戦略会議』は、浮揚策に第一弾として「観光」を挙げている。焼酎の人気は、九州全域に刺激を与えている。

福岡でいえば、10月16日開館する『九州国立博物館』であり、九州の観光拠点の一つとしてアジアとの交流拠点にもなる。さらに、産業観光、アジア諸国の人を招いてのコンベンションに力を入れたい。

「九州新幹線の早期全線開通目指して」

部分開業だが、好調に推移する

石原進・JR九州社長

2004年3月13日部分開業した九州新幹線は、二年目に入り順調に推移している。時間短縮の効果が大きく、通勤・通学の定期券が開業前の170%、790枚に増えたのははじめ観光・ビジネス客も増え、利用者は初年度が、前の年に比べ128%増の約9000人／日、2年目も4%増え9300人。鹿児島ー博多が3時間9分から2時間に、鹿児島ー熊本間が2時間14分から54分に短縮された効果が大きい。

経済効果も出ている。鹿児島県への効果を見ると間接効果も入れると166億円。なかでも、食品関係の伸びは「焼酎」中心に、極めて顕著に出ている。

南九州観光調査開発委員会を立ち上げ、東京の雑誌編集者などを委員に迎えた。その効果は、女性週刊誌、旅行情報誌などに、ローカル線の旅など南九州の紹介が増えている。今後も、地元のホスピタリティー向上を目指し、博多ー鹿児島間の全線開通を前に「日本初の“中抜き新幹線”」を最大限活用し地域振興に役立ちたい。

博多ー鹿児島は平成22年度一長崎へも

北川隆・鉄道運輸機構九州新幹線建設局長

速達性、安全性、確実性、環境にやさしいという特性をもつ新幹線は、全国的に地域振興に役立っている。博多ー新八代間は、平成22年に開通する計画で、完成の暁には、かつて4時間かかった博多ー鹿児島間が1時間20分になる。この線の特徴の一つ挙げると、筑後川の伏流水を枯らさないよう、山の中腹にトンネルを掘っていることで、このため1000分の35という、新幹線史上最大の勾配をもつ区間ができることだ。長崎ルートは、平成17年度予算で10億円の調査費がついた。スーパー特急方式、フリーゲート方式など研究しており、試作車は出来ている。このルート完成の暁には、博多ー長崎1時間50分が1時間19分に短縮される。

九州の安全度は高い？

「福岡県西方沖地震と九州の都市防災」

川瀬博・九大大学院教授



「九州は安全だから、観光に問題ない」と言って欲しいのだろうが、そうは断言できない。先の福岡県西方沖地震は、予測できないものだった。地震発生の危険度は、関東の100分の1と言われていたのだが、起こった。今回の地震のタイプは、1994年の神戸の大地震と似ている。内陸型、地殻内地震であり、海で起きたので被害は比較的少なかった。

日本は西日本は東へ、東日本は西へ動き、中部が圧縮される形となっている、九州を見ると、南九州が南に動いて九州中部に中央地溝ができるような方向にある。大昔の別府湾地震、島原地震なども、その現れだ。

さて、福岡だが、市内を警固活断層が走っているが、地震が起きる可能性は1万年の1回と言われる。マグニチュード7クラスの地震が起きる可能性は、今後30年間で最大7%、その後ぐんと下がって3%程度、とされている。ともかく、「地震は、もう起きません」とはいえないが、東海・関東に比べ発生確率は10分の1、といていい。

2000万人の観光客誘致目指す

来年開港の新北九州空港開港をチャンスに

末吉興一・北九州市長

1987年に市長になったとき、観光統計もほとんど無かった。そこで2005年目標に「長期計画」を策定した。当時、門司、八幡、小倉、戸畑、若松の5市が合併して出来た北九州市は、東京などから見ると「工業地帯、鉄冷え、顔の無い街、通過都市、暴力の街など、悪いイメージ」があった。観光面で言うと、まさにマイナスからのスタート。日本11大都市の中でのイメージは、最下位だった。

こうしたなかで私が打ち出したのは、歴史遺産、自然遺産をどう生かすか、民間側の観光受け入れ態勢の整備、下関との広域観光提携などであり、産業観光、国連からも表彰を受けた環境改善ーエコタウン、勉強観光（俳句吟行の誘致）なども手がけた。

歴史遺産観光の一つは、門司港レトロ事業。就任以来600億円かけ、門司港駅、三井倶楽部、赤レンガ倉庫など保全整備の結果、観光客は10倍近くに膨らんでいる。北九州全体でも、就任当時337万人だった入り込み客が1147万人に増えている。

これからも「インバウンドを増やすには、アウトバウンド」と思う。幸い、来年2月には新北九州空港が開港する。当地への出入りに大きな戦力となろう。大いに東アジアの人たちとの交流を進めたい。そして、目指すは「（内外客あわせ）2000万人の誘客」である。

東京 震が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

佐藤信秋技監が国土交通事務次官に就任 国交審議官は丸山、峰久、官房長に春田の各氏

国土交通省の幹部人事が、8月15日までに発令され、岩村敬事務次官の後任には技監の佐藤信秋氏が就任し、国土交通審議官は洞駿、三沢真氏が退任して後任には丸山博総合政策局長、峰久幸義官房長が就いた。技監に清治真人河川局長、総合政策局長に竹歳誠都市・地域整備局長、官房長に春田謙政策統括官が就任した。金澤悟自動車交通局長の後任に宿利正史総括審議官、鷲頭誠総合観光政策審議官のあとに柴田耕介気象庁次長が選ばれた。鉄道、航空、道路局長らは留任。

観光立国の実現へ48億円を要求

国交省 国際競争力のある観光地を

国土交通省は8月31日、平成18年度予算の概算要求を発表した。このうち外国人観光客1千万人（年間）を目標とする観光立国を実現するため、47億9900万円（前年度予算に比べ大幅増）を要求し、魅力的な旅行商品の開発や国際競争力のある観光地づくりを、官民一体で継続することになった。とくに中国、韓国、台湾からの観光客に対するビザ規制の緩和など国際交流の動きを踏まえたビジット・ジャパン・キャンペーンを展開する。

新幹線整備に12%増の2460億円

新青森～新函館、博多～新八代などで

国土交通省は、平成18年度鉄道局予算の概算要求で整備新幹線の事業費として前年度予算より12%多い2460億円を要求した。新幹線の整備は、平成16年12月の政府・与党の申し合わせに基づき、着実な建設を進めることになっており、新年度は去る5月着工した北海道新幹線の新青森～新函館間を始め、東北新幹線の八戸～新青森間、北陸新幹線の長野～白山総合車両基地間及び福井駅、九州新幹線の博多～新八代間及び武雄温泉～諫早間が対象となる。

鉄道局は新幹線の建設について、新幹線は航空機や自動車に比べ二酸化炭素の排出が少なく、大幅な時間短縮や利用者の増加、観光客の増加などによる地域経済への波及効果が大きいとしている。

愛知万博は大成功!!

9月25日、185日間の会期を終えた『愛知万博』は概算2200万人の観客を動員し、成功裏に幕を下ろした。当初の見込み1500万人を大きく上回り、100億円を超える黒字となった模様である。

25日は皇太子、小泉首相を迎え、2010年の上海万博への引き継ぎ式が行われた。

「つばめ」利用500万人突破 通勤・通学定期客も倍増

J R九州によると、昨年3月13鹿児島～新八代間で開業した九州新幹線「つばめ」の利用者が、9月19日に500万人を超えた。開業556日目なので、一日平均約9000人となる。

九州新幹線の部分開業であり、新八代～博多間はいくつとリレーする形となっているが、それでも鹿児島～博多間の所要時間が大幅に短縮されたこともあり、J R利用客は1年目に従来の2.3倍、開業後の2年目でも4%増と、好調を維持している。ビジネス客、観光客の利用はむろん、通勤・通学定期の枚数が大きく増えているのが特徴的。

沖縄観光は、過去最高

海外のからの入り込みも急増中

沖縄県への観光客が8月には、前年同月比7.7%増で過去最高の56万3600人に達した。1ヶ月間で55万人台を超えたのは、初めて。同県によると、2月を除いて今年の入込み客は毎月のように前の年を上回っており、1～8月累計で前年比5%増の364万人となり、年間では2004年の515万人を超えることは間違いないと、期待している。

8月は、沖縄観光最高のシーズンとされるが、なかでもビジット・ジャパン・キャンペーン効果が、韓国中心に国外からの観光客が前年比31.3%と急増したことが特筆される。今後は、韓国に続き、ビザ発給が容易になった中国からの観光客の増加に、県は大きな期待をかけている。

あんな話 こんな話

わが国初の「観光大学」が誕生

2006年4月大阪明浄大学から改名

9月19日の朝日新聞に「国内初の観光大学誕生」という大見出しの全面広告が出た。現在の『大阪明浄大学』からの名称変更である。

この大学の学長は、国際観光振興機構（J N T O）で36年間、外国人観光客の誘致に務めた塩澤潔氏で、この7月就任。同大学は2000年開校以来、全国で3ヶ所しかない観光学部をもち、観光関係へ人材を送り出してきた。

塩澤学長は「観光は21世紀の成長産業であり観光は平和へのパスポートである」として、おもてなしの心—ホスピタリティーをもつ観光スペシャリストを育成したい、と、改名の弁を語っている。2006年4月、現校名を改めて『大阪観光大学』となる。（朝日新聞から）

読者の情報ご提供を期待しています

観・光・人・国・記

北九州市ルネッサンス構想を基軸に 来年開港の新北九州空港で飛躍を 末吉興一北九州市長に聞く



1958年東大法卒、建設省（現国土交通省）に入り、河川局次長、国土庁土地局長を最後に退官。1987年、3代目の北九州市長当選。以来、連続5期現職にある。

私が北九州市の市長に就任したのは1987年です。この当時は最悪の不況であり、特に八幡製鉄所に代表される重厚長大な北九州市の産業は厳しい状況に見舞われていました。その打開と発展のため長期構想を策定しました。それが「北九州市ルネッサンス構想」です。

《水辺と緑とふれあいの“国際テクノロジー都市”へ》を基調テーマに

- 1 緑とウォーターフロントを生かした快適居住都市
- 2 健康で生きがいを感じる福祉・文化都市
- 3 あすの産業をはぐくむ国際技術情報都市
- 4 海にひろがるにぎわいの交流都市
- 5 未来をひらくアジアの学術・研究都市

を、目指す都市像に定め、1989年から実施計画に着手し、今年最終年次を迎えています。

北九州市の観光資源としては、小倉城や関門トンネル、若戸大橋などがありましたが、根が「モノづくりの街」であったため、ビジネス用宿泊施設が主体で観光客を迎え入れるにはウエルカムマインドにやや欠ける面がありました。一方、新幹線、高速道路の計画により通過地区に陥る恐れもありました。

新たな観光資源として、1990年のスペースワールド、門司港レトロ地区のオープンがあげられます。98年には松本清張記念館をオープンしました。

ハードの整備や市民マインドの向上もあり、1998年には初めて観光客数が1000万人を超えました。

一方、公害を克服した市として、1997年国の承認を受けた北九州エコタウン事業（あらゆる廃棄物をできるだけ資源として再利用する）は、世界で唯一の総合環境コンビナートを形成しています。ペットボトル・自動車・家電・医療用具・建設廃棄物各リサイクルからPCB処理施設まで、さらにその過程で発生する熱を利用する発電事業をおこなっています。それが産業観光として、中国をはじめとする東アジア地域からの観光客来日の一助として注目されつつあります。

また、昨年11月、「東アジア経済交流推進機構」を組織し、地域版FTA（自由貿易協定）の中心メンバーとしての活動を開始しました。「ものづくり」「環境」「ロジスティクス」と並び「観光部会」が設置され、活動が期待されます。

来年3月16日には新北九州空港が開港します。当初滑走路は2500mで開港しますが、物理的には4100mが可能であり、拡張も容易なのです。当面は21時間（午前5時～翌午前2時）運用ですが、将来的には24時間使用も視野に入れています。

是非北九州市において下さい。（文責・杉）

レトロな街に似合う『まんねん亀』

女将・塚本美智子さんは料理自慢

ライトアップされた門司港駅、

まさにレトロ、エスカレーター

もないフラットな昔懐かしいた

たずまいだ。駅を背に、国の重

要文化財『三井倶楽部』や赤レ

ンガの建物を眺めながら、5分

くらいか繁華街・栄町に入る。その中心に『まん

ねん亀』がある。



フク料理がメインの料理屋で、女将は塚本美智子さん。佐賀県有田の川魚専門の料理屋から嫁いできた美智子さんは、フク調理師の免許を持つ、料理大好き人間。次々と新メニューを創り出す。いわく、和布刈（めかり）名産のワカメを練りこんだ豆腐、バナナの叩き売りで知られる門司港名物のバナナを使った湯葉巻き、細かく刻んだリンゴをまぶしたフクの焼き物。自分で開発した「あら煮のたれ」を使った煮物。これは、家庭でも簡単に煮物などができる特製の調味料で、商品としても販売している。最近メニューに載せた「平家御膳」「義経御膳」は、大河ドラマ『義経』の壇ノ浦合戦（関門海峡）にヒントを得たもので、源平の旗の色をイメージした赤ベース、白ベースと凝っている。

事業欲も相当なものと、お見受けした。北九州市の末吉市長が門司港地区をレトロ事業の対象として600億円かけて整備を進める中で、『三井倶楽部』のレストラン経営を公募したときには真っ先に手を挙げ、あまたのライバルを蹴散らし権利取得。林芙美子資料館もある『めかり観潮公園』の一角では、日本料理『ら・むゑっと』も経営している。行き詰まったフランス料理店の後を、名前はそのまま受け継いだ、という。三越はじめ著名デパートの通信販売にも、出品している。この拡大路線、「私じゃ、ありません。主人のお陰です」と、控えめなお言葉も奥ゆかしい。

門司港地区への観光客は年間231万人、かつての26万人から見るとレトロ効果抜群である。そんな背景もあって、『まんねん亀』グループの経営は順調。趣味は、どうやら創作料理のように思えるが、ご本人は「店を閉めて2時間くらいはビーズ細工に取り組みます。睡眠時間は短くなりますが、ホッとするのはです」と。将来は、ワカメエステにも取組みたいと、街の美容院に“プレッシャー”をかけている、そうなる。（白澤・加納）



NZ観光局の天心さんを囲んで

JN立教支部 正和 泉

7月25日、立教支部7名で浜松町貿易センタービル内にあるニュージーランド観光局の局長、小林天心さんにお会いしてきました。

天心さんを囲んでの勉強会は昨年からはまり、今回で3回目。観光、時事問題、ニュージーランドについてと話題は多岐に渡り、参加者全員と対話しながら進められる勉強会で、大変充実した時間を過ごすことができました。また、勉強会後は食事をとりながらよりざっくばらんに話すことができ、勉強の枠を超えた、天心さんと学生たちの交流の場を持つことができました。

天心さんのようなバリバリと活躍されている社会人の方とお話する機会は、学生にとって貴重な体験となります。私は就職活動を経て、JN立教支部での企業訪問・勉強会などが自分を大きく成長させてくれたことを実感しました。今後も是非、いろいろなことに積極的に参加したいと考えています。また、就職活動前の後輩たちにも是非多くのことをJNの活動から学んで成長して欲しいと思っています。

エスペラントで国際交流

私の名前は「海」（マール）

立教支部長 田久保万里夫



みなさんは国際語エスペラントをご存知ですか。1887年に一人のポーランド人医師によって作られた世界共通語です。私の両親がこのエスペラント語を学んでおり、私の名前もこのエスペラント語のマール(海)という単語から取ってつけられました。

現在では英語が世界の主な国際語として使われており、エスペラント語はひっそりとその活動を続けているといった状況ですが、私にとっては非常に縁のある言語なのです。そんな私も小さい頃は勉強が嫌いで、今になるまでエスペラントをろくに勉強せずにきてしまいました。しかし、最近になってようやくエスペラントの素晴らしさに気づき、勉強を始めました。

そして、この夏には早速、千葉の鴨川で行われた

日韓中青年エスペラント合宿というイベントに参加してきました。当日は日本と韓国と中国、そしてドイツやセルビア・モンテネグロからもエスペランティストが参加して交流を深めました。残念ながら私はまだ新参者なので、簡単な受け答えしかできませんでしたが、一つの言葉で何カ国もの人々が交流し合えることの醍醐味は存分に実感することができました。熟練者たちが楽しそうにエスペラント語で会話をするのを見るにつけ、もっと勉強しなければという勉強意欲を掻き立てられました。

聞けば、世界大会というのが毎年会場となる国を変えて行われているのですが、2007年の会場はなんと横浜だそうです。世界各国のエスペランティスト達が一堂に会し、様々な活動が行われるそうです。その時までには、英語では会話できない国の人々と対等な立場で会話ができるように、今から少しでも勉強していこうと思っています。

トキメキを感じる街づくりに、市民参加を！ 「横浜観光シンポ」で中田市長が強調

2009年に開港150周年を迎える横浜市が、官民一体となって観光振興に拍車をかけている。横浜商工会議所主催で9月5日に開かれた「横浜観光シンポジウム」は、その一環であり、中田宏・横浜市長が基調講演した。

中田市長は「横浜の魅力は、港に着くと目の前に全てが揃っていることだ。こんな便利な街は、日本にはほかに無い」「ロンドン、パリ、ローマなど、ヨーロッパの観光都市に共通しているのは①都市としてのビジョン②新たな価値観の導入③強力なリーダーシップ④シンボリックな施設・機能⑤世界に向けての魅力的な情報発信—の5点である。市長になって東京芸大を誘致したのも、こうしたことを念頭に置いた上でのことだ」

「外部の人から『ヨコハマはなんとなく得をしてきた街だ』と言われる。『なんとなく』ではダメで、歴史的財産に立脚した街づくりに向け、自分たちが仕掛ける市民参加路線で、トキメキを感じさせる街にしていきたい」。

「横浜トリエンナーレ2005」開く

日本を代表する『国際現代美術展』。9月28日(水)から12月18日まで、横浜市の山下埠頭倉庫群を会場に開く。世界のアーティスト80人が参加している。作品展示以外にも、多彩なパフォーマンス、演劇、映画、そしてシンポジウム、ギャラリー・トークなどのイベントも目白押し。芸術都市を目指すヨコハマが3年ごとに開くもので、市民多数がボランティアとして会場設営などに当たっている。官民一体となったの催しである。

通勤新線として高い期待

どこからも見える筑波山

‘つくばエクスプレス’ 試乗記

8月24日から営業開始となる‘つくばエクスプレス’（略称TX）に7月27日試乗した。科学技術先端都市なのに鉄道施設がない、つくば市は年々人口が



つくば駅ホームのEX

増加（18万7千人）して、いまや首都圏への通勤者も急増し早くから鉄道開通が望まれていた。近年沿線都市人口の膨張もあり、沿線3,000ヘクタールの開発計画と相まって、沿線自治体

挙げて待ちに待った嬉しい開業である。

全線20駅はすべて高架橋とトンネルで、1都3県（秋葉原⇄つくば、58.3km）を最速45分で走る。乗車定員930人の全車両6両で編成され、先頭車と最後部車はロングシート、中央4両はボックスシートである。駅本体施設や付属施設、車輛、高架橋、軌道等にも最新のハイテク技術が導入されているため振動は意外に少ない。

思わぬ発見は、車窓からどこまでも筑波山を見渡せ、田園地帯の中の沿線風景に緑地が多く、広告看板も少なく、乗客の目にも優しいことである。利用者の便を考慮したバリアフリー、多機能トイレ、採光面にも工夫が見られる。ただ、駅内のトイレ施設では便器数が足りず、特に女性用トイレ不足は明らかで、女性試乗者からも指摘されていた。車輛は実用性重視のため、ことさら目を惹くような設備やカラーデザインは施されてはいないが、ATC（自動列車制御装置）やATO（自動列車運転装置）はきちんと設置されており、安全性の点で大きな問題点は見当たらない。

即座にお金を落としてくれ経済的に都市が潤う観光路線とは異なり、通勤路線としては住民の利便性の向上と、都心と沿線都市を結ぶネットワーク、特に情報と文化を結ぶチャンネルとして、長い目で見て都市発展のために果たす役割が大きい。そえゆえにこそ、地域を発展させていくために、長期的に沿線住民、自治体、鉄道会社が一体となって「自分たちの鉄道」である「つくばエクスプレス」を堅実に自立させることが肝要であろう。

いくつかの課題はあるが、問題のひとつは地下深く34mに秋葉原駅を建設しなければならないような莫大の建設資金を投入して、果たして予定通り40年で償還することが可能か。その点でJRに比べて20%以上の割高運賃は、通勤路線運賃としては高過ぎ

やしまいか。さらに一日当たり28万5千人と目論んでいた乗降客を開業直前に13万5千人と大きく下方修正した。実際に獲得し目算通り償還することができるのか。お祭り行事が一段落して冷静に現実を直視した時、先行きの展望において、まさに運営会社「首都圏新都市鉄道」と沿線自治体それぞれにとって真価が問われることになるに違いない。（近藤 節夫）



つくばEXの車内

シネマ散歩「深紅」

これは人殺しというトラウマに遭遇して、強くなっていく女を描いた一級のサスペンス映画である。第二回吉川英治文学新人賞を受賞した野沢尚氏の遺作となった、人殺しをテーマにしたミステリー小説「深紅」の映画化である。

父と母、さらに幼い二人の弟の遺体は顔を砕かれていた。秋葉家を襲った一家惨殺事件。修学旅行で一人生き残った奏子（かなこ）は、癒しがたい傷を負ったまま大学生に成長する。父に恨みを抱きハンマーを振るった加害者にも同じ年の娘がいたことを知る。正体を隠し、奏子は彼女に接近するが、二人はあまりにも純粋な動機の人殺し計画を企てるハメになってしまうが……

「強い女」を描いて数々の秀作を残している今村昌平監督を師と仰ぐ月野木隆監督は、二人の少女の葛藤と強い女への成長を力強く歌い上げている。

筆者はこの作品を観て、人殺しという人間の怒りの行為は時として本来邪悪なものではなく、溢れ返る血の海があらゆるものを美しい深紅色に染めてしまうような純粋な美しいものではないのかと思ってしまった。

（副理事長 岡村 進）

- * 2005年 日本映画
- * 月野木 隆 監督
- * 上映時間 117分
- * 渋谷シネマミューズ、銀座シネパトスなどで9月17日（土）から全国公開中



「観光立国フォーラム in 札幌」へ、ご参加を!!
JN協会は11月8日午後3時から、札幌市の「ホテル・ライフオート札幌」で、北海道支部設立総会と講演会をひらきます。ふるって、ご参加を。

豊かなテニス人脈・足腰鍛えて健康保持 海外旅行の時差ぼけ解消 観光にもひと役 テニスを楽しむ（下）

テニスの魅力は、人脈がほかのスポーツに比べ豊かであり長く付き合えること、足腰や心肺機能を鍛えて健康保持に効果的であること、海外旅行の時差ぼけ解消に最適であり観光立国にもひと役買っていることだ。「スポーツと観光立国」テニス編の最終回では、こうしたテニスの効用について報告する。

（事務局長 白澤照雄）

私は下手の横好きで野球、卓球、剣道、水泳、ボート、ゴルフにも精を出したが、スポーツ同好会の人脈と言う点ではテニスが突出している。新聞社を定年退職してからも続いているテニス人脈は幅が広く、10年ぶりにパーティーなどで顔を合わせた昔の仲間と交わす挨拶は

「どう？ やってますか」から始まるほどだ。今も新聞社の後輩、民間企業や官公庁のOB、現役などと練習試合をやったり、懇親会を開いたりして交流を深めている。これらの仲間と

はテニスを取り持つ縁で、困ったことがあれば気楽に相談できる良さがある。

ゴルフの場合、プレー代が高く運動量が少ない。それにハンディキャップが与えられる。これに対してテニスは実力のスポーツだから上位の人に勝ったときの達成感はたまらない。ラケットなど道具も安く、レンタルのコート代でも1時間、2500円前後だから通常5人ほど参加するダブルスなら3時間プレーしても1人1500円ですむ。「テニスは足ニス」だから運動量が多い。プロの世界4大会の男子シングルスは5セットマッチなので、フルセットにもつれ込むと、4時間近く走りながら打ち合う格闘技となりフルマラソンに匹敵するとか。世界トップクラスの選手は、新幹線並みの時速200キロから240キロの世界最速のサーブを繰り出し、格闘するわけだ。

私のテニスの復活は、1979年の第二次石油危機のころだ。燃費のいい日本の乗用車の対米輸出がどしゃ降りのように急増。米国ビッグ3が大幅赤字となり、日米間の自動車摩擦に発展した。当時、通産省（現経済産業省）を担当していたが、連日の夜回りでカゼをこじらせ、「何か健康法はないか」と考えたすえテニスを復活させ、激しい報道合戦を乗り切った。テニスは足腰や心肺機能を強め、動体視力の訓練に効果あり、以来カゼにも強くなった。海外旅行に出かけたら、必ずテニスで汗を流すよう、心が



プレーの後のイッパイ、深まる交流

がけている。リオデジャネイロ、ワシントン、マレーシアのピンツル、シンガポール、サウジアラビアのリヤドなどでテニスをして時差ぼけを解消し、すっきりした気分仕事と観光を楽しんだ。砂漠の都市・リヤドは「車のボンネットで卵焼きができる」ほどの想像を絶する炎熱だったが、早朝テニスを満喫し、シンガポールではインドネシアの若者と対戦したが、ドローでハッピーエンド。こう見てきたようにテニスの効用は数多い。若い女性との出会いも元気のいいニュー・シニアにとって活力となるようだが、熱中症やけがには十分な注意が必要である。JN協会の皆さん、テニスクラブを作りませんか。

イタリア映画「輝ける青春」を観た 6時間を越える超大作で、観光にも資する

神田神保町の岩波ホールで、イタリア映画「輝ける青春」を9月16日まで上映していた。1日1回、午前11時から午後5時30分まで、途中30分の休憩を挟み6時間を越える映画であり、1966年から2003年まで、イタリアの家族を追った物語である。

ローマ、トリノ、大洪水に見舞われたフィレンツェ、一方、ピエトラカメラ、ヴァル・ドルチャ、ストロンボリ島（エオリエ諸島）など我々日本人には馴染みの無い美しい土地が現れる。

また、サッカーのワールドカップとイタリアについても、興味深く表現されている。

1966年：第8回開催国：英国。この年、イタリアは一次予選4組で1勝2敗、予選で敗退している。

7月13日2-0チリ、7月16日0-1ソ連、7月19日0-1北朝鮮。映画には、7月19日のラベンナ付近の砂浜のテレビの前の応援の人々が、頭を抱えて嘆く場面が出てくる。

1982年：第12回 開催国：スペイン。この年イタリア優勝。

6月14日0-0ポーランド、6月18日1-1ペルー、6月23日1-1カメルーン、6月29日2-1アルゼンチン、7月5日3-2ブラジル、7月8日2-0ポーランド、7月11日3-1西ドイツ

7月11日のトリノの博物館で、仕事そっちのけでラジオを囲み優勝決定の瞬間に喜ぶ館員の姿が出てくる。イタリア人にとって、この2つの試合は忘れえぬものなのだろう。

1966年、ピエトラカメラからラベンナへ行く緑色のバスの運転台が右側にあるのが気になった。画面に登場する乗用車、鉄道車両、写真機と、あの時代はあんなだったと思わせるシーンが連続する。

また、第二次世界大戦以後、通貨のリラがユーロになる迄のイタリア近代史、新生イタリアを想う物語、さらに観光映画にもなっている。（杉 行夫）

次号は11月15日発行です。ご投稿を、ぜひ！

28都道府県に根を下ろすタクシー

JN協会団体会員の「第一交通産業」

平成17年7月8日の日経新聞ミニシリーズ、地方の実力派⑥で、JN協会団体会員『第一交通産業』が「タクシー事業大手の第一交通産業が・・・」。2006年3月期の連結経常利益は前期比11%増の52億円と、二期連続で最高益を更新しそうだ。・・・」などと、紹介された。

同社が28都道府県で営業するタクシー、ハイヤー事業の営業エリアは下記の通りなので、機会があれば、ご利用を！（杉 行夫）



○福岡県（北九州市小倉北区・小倉南区・戸畑区・門司区・八幡西区・八幡東区・若松区・福岡市博多区・城南区・東区・西区・南区・早良区・那珂川町・大野城市・久留米市）○長崎県（佐世保市・島原市・小浜町雲仙）○熊本県（熊本市・鹿本町）○大分県（大分市・安岐町・佐伯市・中津市・別府市・湯布院町）○宮崎県（宮崎市・日南市・延岡市）○鹿児島県（鹿児島市・指宿市・鹿屋市・薩摩・川内市・串木野市・姶良町・加治木町・霧島町・阿久根市）○愛媛県（松山市）○徳島県（徳島市）

○山口県（周南市・下関市・岩国市・萩市）○広島県（広島市）○島根県（益田市・浜田市・大田市・津和野町・出雲市・松江市）○鳥取県（米子市）○兵庫県（神戸市・姫路市）○大阪府（堺市・忠岡町・和泉市・大阪狭山市・河内長野市・泉佐野市・大阪市住之江区・泉南市）○和歌山県（和歌山市・橋本市・御坊市・白浜町・田辺市・新宮市）○三重県（熊野市）○愛知県（名古屋市西区・北区）○静岡県（熱海市・沼津市）○長野県（松本市・明科町・飯田市・諏訪市・茅野市・佐久市・軽井沢町・大町市）○石川県（加賀市・山中町・小松市・金沢市）○東京都（足立区・千代田区・大田区・江東区）○神奈川県（横浜市中区）○埼玉県（狭山市・飯能市・川越市）○群馬県（高崎市・渋川市・前橋市・嬬恋村）○茨城県（水戸市・ひたちなか市・那珂町）○山梨県（甲府市・笛吹市）○宮城県（仙台市宮城野区・若林区・泉区・松島町）○北海道（札幌市白石区・西区・東区・北広島市）

会社の概要

グループ内会社数 : 110社

グループ資本金合計 : 44億1,525万円

グループ全従業員数 : 約12,000名

グループ全営業車両数 : 6,495台

連結売上高 : 約733億円

（「第一交通産業」平成17年 会社案内から作成）

<http://www.daiichi-koutsu.co.jp/>

C O L U M N

ギネスブックとミシュラン

いつのころからか、「ギネス記録」と称して所謂素人が自慢の自己記録を誇示するようになった。「ギネス記録」が熱く騒がれるようになったのは、ごく最近のことであり、20年ほど前ダブリン市内のギネスビール工場を見学した時には、工場内ですら大して話題にならなかった。あまりルールとか、規約に縛られない点がいい。興味がありそうな事象なら申請して証明され、証人がいれば何でも認可してしまう、その大判振る舞いなどがまた喜ばれる。

一方の「ミシュラン」はいまでは格式が高く、食の道のプロを対象にしている、評価が下がったと自信を失くしたレストランのシェフが自殺をしたと喧伝されるほど、いまや馬鹿げているくらいその権威と名誉は上がってしまった。偉ぶってはいるが、スポンサーが食とは直接関係のないタイヤ会社である点が面白い。

ところでわれわれ凡人には「ミシュランの☆」を獲得できる保証はまずないが、前者の「ギネス記録」なら、自分の勲章、或いは実績として自慢してもよいのではないか。そう考えてギネスにこそ申請しないが、自分なりの「個人ギネス記録」というものを誰憚ることなく「図解」で表示して、暇そうな友人に差し上げては、話題を提供している。

海外で強盗に襲われ時計を奪われたこと、ベトナム戦地で危険に遭遇したこと、ヨルダン軍に身柄拘束されたこと、トルコ大地震に遭遇したこと、南ア鉱山の地下1500mまで潜ったこと、深夜トンネル内で轢死体を処理したこと、ドラキュラの墓に参拝したこと、ダイアナ王妃の死を前日に知ったこと等々、ギネスは認めないだろうが、自慢したいことはいくらでもある。私の「図解」表には40を超える自己満足の私製「個人ギネス記録」が記載され、みんな興味を抱いてくれる。それがいつそう意欲を駆りたて、喜びをもって新たな記録作りに挑むことになる。これからの人生の楽しみのおまけに、皆さんも「個人ギネス記録」へ挑戦してみてはいかがでしょう。（近藤）

お得な情報

「日本で見つけた 世界おいしい物語」

中国の串焼き 故郷味 (大島 慎子)

ホルモン焼きなどといったらいけない。

野菜やねぎの串焼きをみていると、日本の串焼きと何ら変わりはない。しかしながら、ししとう焼きなどに使われるスパイスは20種以上の混合といわれ七味などとは風味が異なる。

御徒町の駅からアメヤ横丁と反対側にある「故郷味」は、中国東北料理の串焼きの店である。

羊肉の串焼きは、ウルムチから伝わったといわれる。昔アフガニスタンを旅行したときに、羊肉を鉄串にさして焼いた荒っぽいシシカバブを食べたことがある。

同じ食材でも中国では混合スパイスを沢山振り、肉汁にも繊細な味わいがある。一本150円。同じように串にさしたダイヤ型の肉は、牛の血管で、これもスパイスをたっぷり一本200円。これはレバーのような味だが、ぷりぷりした食感である。狗犬料理もあり、一皿2000円。脂がのった皮付きで、鴨肉のような味である。

ハルピン出身のおかみさんが、愛想をふりまく。その他、豚の軟骨、牛のシン（性器）など焼き台に次々と並べられる品々は、ビールと絶妙に合うが、説明されると考えてしまう。干し豆腐の和え物は唐辛子がきいてさっぱり感で気分転換も必要。気取らず珍味が大量に食べられる店である。

東京都台東区上野6-2-7 キングビル 電話03-5807-1377 営業時間11時30分から翌朝5時まで。

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年に創刊され、ホテルオークラ、帝国ホテルなど全国のシティホテル110館約50,000室の客室に常備されている日米対訳の文化情報誌です。

2005年度版は編集・デザインを大幅に刷新。表紙は気鋭の合羽刷(版画)師、西岡文彦氏による作品としました。英文も基本的に全文対訳とし、学校教材としてもより利用しやすくなっています。



特集では、世界遺産に登録された「熊野三山」に焦点を当て、歴史・風土・文化、そして現在の姿を、豊富な写真を中心に紹介しています。

さらに、木村尚三郎氏による巻頭メッセージ、金子務、鎌田東両氏による特集エッセイは、これまで以上に読みごたえのある記事となっています。

1部2,000円(送料別)で購入できます。

お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。

電話03-3465-5826

FAX03-3465-5254

品川で「道の駅」 “大会” 開く

猛暑の夏を乗り切り、実りの秋・味覚の秋を迎えた。その猛暑の8月6日に「道の駅」のイベントが開催された。

1日だけの臨時開業・道の駅「品川宿」。全国の「道の駅」38駅が自慢の特産品などを持って地元をPRした。8月は「道路ふれあい月間」だそうで、8月10日を「道の日」としたことから開催され、今年で20回目になると言う。一通り歩いてみると全国の「道の駅」ガイドマップが手に入りドライブ気分になる事ができた。もともと「道の駅」は一般道路の休憩機能として誕生したと聞いており、私も「道の駅」とは何ぞや？と気にはなっていたが、いつの間にか「道の駅」と看板があると必ず立ち寄り、その土地のことを肌で感じている。

今では「道の駅」は全国で830箇所近くあり、1000箇所になるのも間近の事かと思う。日本全国津々浦々、地元の人が自慢するからこそ心に響くのであり特産物も買ってみたいと思い、また来てみたいと思うのだと思う。そんな「道の駅」を通して、わが町自慢をこれからは紙面で紹介したいと思う。

「道の駅」ゆのたに

関越自動車道小出ICから国道291号と小出・守門線経由で4分。福島県と群馬県に接する山あいの湯之谷村にあるのが「道の駅・ゆのたに」。



町村合併で魚沼市になった特産品販売所「深雪の里」では魚沼コシヒカリも販売、レストランでも味わうことができる。隣接の「奥只見インフォメーションセンター」では、湯之谷温泉などの宿

泊、日本一の貯水量を誇る人造湖「奥只見湖」、銀山平などの観光の案内もしてくれる。

開設時間は午前9時～午後6時。休館日は水曜日。

問合わせ：025-792-9300(深雪の里) (堤 るり)

【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2005年11月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2005年11月15日。締め切りは11月5日。

NPOから提案します

ジャパンナウ観光情報協会への期待 その22

「宇宙旅行」

JN協会理事 寺前秀一

世界最初のジェット旅客機の商業運航は1952年5月2日、英国BOACによるロンドンとヨハネスブルグを結ぶ路線へのデハビラント・コメット機の就航に始まるとされる。コメット機の登場は、悲惨な航空機事故の幕開けでもあった。事故の原因は、プロペラ機の飛ぶことのなかった高高度を飛ぶジェット旅客機では、機内に与圧をかける必要があり、その機内気圧の飛行回数毎の変化により、航空機の構造部材が金属疲労を起こし、ついには破壊したことによるものであった。多くの犠牲者が発生してようやく原因は解明されたが、時すでに遅く、デハビラント社は航空機市場からの撤退を余儀なくされた（「航空事故の過失理論」池内宏 成山堂書店）。

大手旅行会社が宇宙旅行を売り出し（<http://www.jtb.co.jp/space/course.asp>）マスコミで大きく報道された。日本の旅行会社が米国のスペースアドベンチャー社と日本での独占販売契約を締結し、宇宙船ソユーズを利用し、ロシアの宇宙飛行士が操縦する月旅行（約110億円）やロシア空軍の最新鋭ジェット機に体験登場できる超音速ジェット体験（約230万円）ができる商品を販売することとなったとしている。旅行業法的に解説すれば、実サービス提供はロシアの組織、旅行契約責任は米国の組織が引き受け、日本の会社は販売の代理店ということであろうか。ロシア、アメリカでも日本でも宇宙船は運送機関とはみなされてないであろうが、超音速ジェット機は運送機関と認識されるであろう。従って、ジェット機旅行に関して運送法規はロシア、旅行法規はアメリカのものが適用されることとなるが、宇宙旅

行契約に関しては、おそらく保険の引き受けも拒絶されるであろう。宇宙旅行に関してはまったくの自己責任の世界ということである。契約責任に関しては、新薬発行の前の治験と同じ考えをとるのである。コメット機の歴史を繰り返さないことを祈るのみである。

現役の小型蒸気機関車を見る

インドネシア・ジャワ島の製糖会社で

JN会員 杉 行夫

インドネシア・バリ島を、今年4月後半訪れた。前回1983年以来、20数年ぶりである。

バリ島西端の港から、フェリーでジャワ本島に渡り、本島東部に残っていた製糖会社の専用鉄道の蒸気機関車を2～3泊で見に行った。軌間が2フィート（610mm）や3フィート（915mm）で、シリンダーを4つ持つ機関車、東海道線が御殿場経由であった頃導入された間接型マレー形機関車が多くの工場に残されていた。アニメ「ハウルの城の動く音」に使われた機関車と同じ軌間2フィートのものが2両あり、1両は稼働中、もう1両は車庫で休んでいた。買えるなら買おうと思っていたが、残念ながら我々の手には入らなかった。この機関車は今、ドイツ・フランクフルト郊外の保存鉄道で走っている。

今回は息子の結婚式に出席するための旅行で、20数名が一つのホテルに1週間近く滞在する経験は、新しい趣向であり、定着するかも知れないと感じさせた。式場は海に面した断崖上の教会で、天候に恵まれ、海の美しさと夕日は印象深いものであった。

このあとジョクジャカルタへ行き、世界遺産のポルプドールと、街の中に在るヒンズー教プランバナ寺院の遺跡を見に行った。ポルプドールは規模は大きいが整備がいきなり過ぎて、いま一つ訴えるものが無かった。

あめりか観光通信 その1 ～セグウェイ～

最新の乗り物、セグウェイで市内観光

最近NHKのニュースで取り上げられたのでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、未来の乗り物として4年近く前から注目を集めているセグウェイが、観光にも利用されています。

このセグウェイは、大人が一人で立って乗るのに丁度良いサイズです。2つのしっかりとしたゴムの車輪の上に横長の板が載ったような形で、その上に立ち、両手で自転車のようなハンドルを握って動かします。体の動きに直接反応するように曲がったり、前に進んだり、後退する仕組みです。電動モーターですから音も静かで、排気ガスの心配もないという利点もアピールポイントの1つです。

アメリカでは市内観光にセグウェイを利用した

ツアーも誕生しています。混雑する車での観光を避け、自分でハンドルを操作しながら、ゆっくりと街を観光するには最適な方法と言えるでしょう。セグウェイを最初にツアーに使ったのはミネアポリスですが、いまではワシントンDCやシカゴ、ロサンゼルスなどでもポピュラーになっています。勿論会議施設や空港など屋内の施設での利用も今後増えていくことでしょう。

写真：インターナショナル・パウワウの初日、TIAのCEOはセグウェイに乗って登壇し話題になりました。

（JN会員 井上嘉世子）



姓名(ナマエ)の話ー「ハシゲン」

副理事長・橋元雅司(元国鉄副総裁)

約50年前、国鉄に入ったとき、橋本さんという人が1年先輩にいて、2人を区別するためにその先輩を「ハシボン」、私を「ハシゲン」というようになった。それ以降、今もって私を「ハシゲン」という人は多い。手紙の宛名も「橋本」と書いてくる人がほとんどだったが、最近になってようやく「橋元」と書く人のほうが多くなった。



父方のルーツが南九州の霧島神宮のあたりで、あの地方では「ヤマモト」さんも「カワモト」さんも「本」より「元」である。以前、橋元という名前を東京の電話帳で調べたが、3人くらいしかいなかった。日本交通公社の顧問弁護士に橋元四郎平先生がおられた。この間まで最高裁判事をお務めになった高名な方だが、「ハシゲン」会をやろうと計画したが、結局2人だけの会になって

しまった。

あるとき、生命保険会社の社長さんと話をしていたら、日本は姓名が多すぎて困るという。その方の話では佐藤(193万人)、鈴木(170万人)、高橋(141万人)の順に多く、約30万の姓があるそうだ。ちなみに韓国は人口4800万人に対して姓は約270。中国は12億人以上の人口に対して500ということで、日本は飛びぬけて多い。中国は張という姓だけで人口の1割にあたる約1億2000万人いて、日本の人口に匹敵するというから驚く。

アメリカは150万以上のファミリーネームがあるという(『アメリカ人名おもしろ辞典』)。アメリカ人の姓の元となったヨーロッパ各国の姓が多く、中南米などの移民が加わって100万、150万となったのは、想像に難くない。私のような凡人には初めてお会いする方、会議などに参加した人のお名前を見て、ああ、あの人はどこの出身じゃないか、と勝手に憶測するのも密かな楽しみである。

会員名簿 (敬称略) (個人会員名簿は別刷ご参照)

- 名誉顧問** : 松山善三(映画監督)
理事長 : 松尾道彦(日本海事財団会長、前日本鉄道建設公団総裁)
顧問 : 丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング相談役)
副理事長 : 白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(小田急電鉄顧問)、橋元雅司(元国鉄副総裁)、橋爪孝之(株JALUX相談役)、大島慎子(ドイツワイン基金駐日代表)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)
支部長 : 片山文彦(新宿支部)、水野卓哉(北陸支部)、田久保万里夫(立教支部)、長尾垂夫(九州支部)、須田寛(中部支部)、岩田弘三(神戸支部)

【団体会員】(2005年9月28日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、岩田建設(株)、(株)エスシー・マシーナリ、株HKIアクシス、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、国光施設工業(株)、佐川サポートサービス(株)、三協アルミニウム工業(株)、(株)三普旅行社、清水建設(株)、(株)ジャルセールス、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、(株)ジェイアール貨物リサーチセンター、消音技研(株)新菱冷熱工業(株)、常磐興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)銭高組、全日本空輸(株)総合パーキング建設(株)、セントラルリーシングシステム(株)、第一交通産業(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中部電力(株)、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トーヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、ネスレジャパングループ、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)ビッグウイング、福岡空港ビルディング(株)、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、プラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)ミルックス、(学)森谷学園、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

JAPAN NOW

観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄(JN協会事務局長)

編集長：加納 隆(JN協会理事)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

今月は、9月21日発行と28日号の2回となった。前者は、「大九州圏観光フォーラム2005」の福岡開催に伴って、その会場で配布する4ページもの、講師陣の紹介とJN協会の4年間の歩みの特集。後者は、福岡での講演会を収録した通常版で、この情報紙。写真は、懇親会での末吉北九州市長(左)と山崎福岡市長(右)の両雄揃い踏み図。(加納)

